

看護部

ER

病院の理念の元、受診希望患者は断らず、1次救急から3次救急まで、全ての救急車を受け入れています。

救急車は1日平均40台で年間では約13,000台を受け入れています。

救急総合診療科では、救急車やヘリコプターで搬送されてくる患者の他に、外来に来院される患者にも対応しています。当院では、緊急度の高い患者を優先的に診察するために、JTAS「緊急度判定システム」を使用し、すべての患者に対し、看護師がトリアージを行なっています。このことにより、緊急性かつ重症度の高い方を見落とすことなく、待ち時間の状態悪化を防ぐことを目的としています。

一方、近年注目されている災害医療では、限られた人員と限りある医療資源で、多数の負傷者に対応する災害トリアージが実施されています。助けられる命を優先的に救っていくトリアージは、院内トリアージとはまったく違うスキルが求められています。

そこで私たちは、災害時に備え、多数の搬送患者に対応できるように、勉強会やシミュレーションを行ない、さらに専門性を高めて、地域の方々に満足して頂けるように、日々のスキルアップに努めています。

業績

1. 藤田大樹：当院救急外来における神経系アンダートリアージに関する検討。日本脳神経外科救急学会学術集会，富山県，2014，1.